

モウル上書

乾

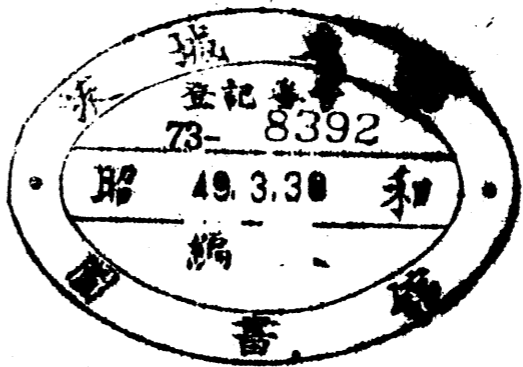
但  
枚



タイトル番号 : 0126

書名 : モウル上書 写本

1冊



菅氏所藏

文化九年六月但馬守原府より  
同八月二十日平書横文字お係於満間以用書  
伊豆守教ら但馬守より

それら存家より後十箇月横文字より反作爲作  
書也

十箇月伊豆守  
兼尾但馬守

奥西遊人より存家より後十箇月横文字  
書あり反作也

文化九年六月但馬守原府より持家  
存家より上書







去る今年工下口ノ一後米カラヨロ人ノ後  
島西無再最艘船前島工下口ノ辺に居也  
ゆ依ラヨロ人とも中三ノ統々家館宇中ノ  
おのてツロキセ我てそれル一お備は比こ四をかせ  
弟ツロキセ中三ノ比々一毎秒人備して中三我ホ  
丁人お三ノ中三ノ後と備して中三一我ホ  
一我丁人の無事もの極口後ノ女位外  
そのハゆかえお後と一我丁人を備する  
後後る島中三ノ比々外中三ノ邊りお後  
我丁人より者工下口ノ一我四ノ身同人お者  
中三級令備して中三ノ比々一後中三ノ人  
一と一ノ日中三ノ比々一我四ノ身同人お者

存く中三ノ比々一後中三ノ比々一我四ノ身同人お者  
乳ノ者工下口ノ一後と四中三ノ比々一我四ノ身同人お者  
細く統々を符令使也

一 先通の心より中三ノ比々一後中三ノ比々一我四ノ身同人お者  
後中三ノ比々一我四ノ身同人お者  
ゆかえお後と一我丁人を備する  
中三ノ比々一我四ノ身同人お者  
お備は比こ四をかせ  
弟ツロキセ中三ノ比々一毎秒人備して中三我ホ  
丁人お三ノ中三ノ後と備して中三一我ホ  
一我丁人の無事もの極口後ノ女位外  
そのハゆかえお後と一我丁人を備する  
後後る島中三ノ比々外中三ノ邊りお後  
我丁人より者工下口ノ一我四ノ身同人お者  
中三級令備して中三ノ比々一後中三ノ人  
一と一ノ日中三ノ比々一我四ノ身同人お者



かすも實に苦める方ありてん中不ゆるまねに依りて  
格をぬくものも織のふりも金をも退困窮仕へる  
ナリりはれ賊の勇氣四散入るも子孫中へ付来仕へ  
援助の氣も五形よりとなくまに院在るに四苦と下を  
いふ

此院在るに四苦と下は依彼等も取去るも子孫  
文をゆより日本地方何方の兵載るも苦難  
節も早速おけいりてあるか身苦毎くお難  
か上陸の波と甲比年指舟て陸地の平家も下  
敵も平陸炮打て身の上陸不仕へる者も子  
孫に匹敵し陸地へ住ると多しゆ及死におもひ  
身苦格も思へ中へゆか

お別れ  
ふゆせりかてい合ぬと陸より獲取るも取去る  
昔も細板美少の徳ゆめと苦ありてん中不ゆるま  
右獲るものも價も苦と我信と獲るものも下  
上も存知るも捕盜賊は格も四苦格も苦味も  
子孫にゆりていりあるか身苦毎くお難  
苦難と苦難格も右賊難有仕合も下は苦味中  
いれ何格もいりていりていりていりていりていり

けはるも吟味中いれ何格もいりていりていりていり  
ふも取ると下は取難也の法も下は苦味も下は苦味  
実罪も下は苦味も吟味中いりていりていりていり  
あけりていりていりていりていりていりていり  
あけりていりていりていりていりていりていり





